

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

軌條反淬装置 (13年特許公告第2263號, 公告13-6-13, 佛蘭西國, ソシエテ, デ, ゴーフールノードウ, ラ, シニール) 装置全體の嵩を最少ならしめ且軌條をして最良の反淬温度にて處理し得せしむべくさせる装置を得んとする目的を以て, 軌條を摺持する動作となす所の爪装置を装着せる搖動腕が可回轉軸上に固定せられたる形式の軌條反淬装置に於て軌條が爪に對し横方向に移動して之に向ひ到着する時該爪が自動的に且つ連結棒を介して他方の爪を制御し依て此の爪が軌條を摺持する如くなしたることを特徴とする軌條反淬装置。

大型曲軸の鍛造法 (13年特許公告第2287號, 公告13-6-15, 東京市, 株式会社日本製鋼所) 機削後同部表面に於けるゴーストの現出を著しく軽減すると同時に材力を向上せしめ優秀なる大型曲軸を得んとする目的を以て, 曲軸の鍛造前素材に於て孔を穿ち之に工具を嵌込みて軸受部及ピン部を所要の形狀に近く鍛造することを特徴とする大型曲軸の鍛造法。

螺旋用金屬線材處理方法 (13年特許公告第2288號, 公告13-6-15, 東京市, 藤倉電線株式会社) 前記ロールの齒によりて刻み付けられたる凹所を常に螺旋狀支持體の表面に在らしめ以て牽引用として輻射狀に纏捲せらるゝ線狀絶緣物をして該凹所に嵌入せしむることに依り運動變位を來すことなき安全なる共心導體を得んとする目的を以て, 共心導體の螺旋狀支持體を形成せしむべき金屬線材を豫め凸型ロールの周邊に齒を有し凹型ロールに組合ふ如くなしたる一組のロールの間隔を適度に保持せしめたる間を通過せしめ凸型ロールの齒によりて線材の上面に無数の小き凹所を順次刻み付け之を直ちに下方の凹型ロールに一回又は數回捲き付け以て線材に凹所を上面にしながら彎曲する癖を付與し更に再び兩ロールの間隙を通して引き出すことを特徴とする螺旋用金屬線材處理方法。

輕金屬類の熱處理法 (13年特許公告第2299號, 公告13-6-15, 獨逸國, ドイツチエ, ゴールド, ウンド, ジルベル, シヤイデアン, スタルト, フォルマルス, レツスラー) 輕金屬類並に其合金等を其熱處理に恰適なる溶解浴内にて最も有効に且經濟的に熱處理せんとする目的を以て, 主成分として鹽化ナトリウム鹽化カリウム又は多數のアルカリ鹽化物の混合物の如きアルカリのハロゲン化物を含有し且之に加ふるに鹽基性反應をなす化合物を輕金屬類又は其合金類が廣く又は完全にハロゲン化物より侵蝕せられざるが如き量に於て含有する浴内にて輕金屬類又は其合金類を處理することを特徴とする輕金屬類並に其合金類特にアルミニウム並に其合金類を鹽溶解浴内にて熱處理する方法。

中空鋼造方法 (13年特許公告第2300號, 公告13-6-15, 東京市, 東京鋼材株式會社) 安價なる金屬心棒を使用し中空鋼製造後抜き易くして而も中空鋼の孔壁に耐蝕性平滑皮膜を與へ得べき中空鋼製造方法を供する目的を以て, 中空鋼を製造すべき素材の壁と金屬心棒との間に酸化クロム粉の薄層を介入せしめて壓延し後金屬心棒を引抜くことを特徴とする中空鋼製造方法。

耐火接合劑製造法 (13年特許公告第2301號, 公告13-6-15, 横濱市, 板垣登一郎) 耐火度高く接合力強く硬化性強力にして膨脹收縮の虞なく熔滓に侵蝕せらるゝことなき耐火接合劑を容易に得んとする目的を以て, クロム鐵鑛に高礬土質鑛, 珪酸質物及石灰

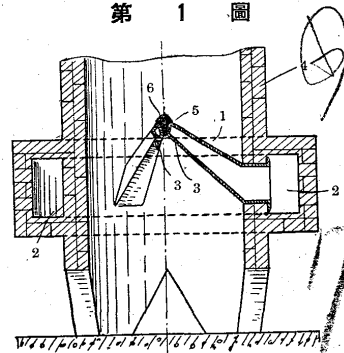
質物を混和し高熱度にて焼成し粉碎し之に高礬土質鑛, ベントナイト及澱粉質を主劑とする糊を混和することを特徴とする耐火接合劑製造法。

高アルミナ質水硬性耐火セメント製造法 (13年特許公告第2302號, 公告13-6-15, 東京市, 近藤清治, 外一名) 其儘又は之に耐火粘土燒粉, ダイアスポア, 硬燒マグネサイト, クロム鐵鑛等の粉砕物を配合して成るモルタルに水を加へて使用するときは能く短時間に硬化し且充分なる温度及耐火度を發揮する水硬性耐火セメントを得る目的を以て, 珪酸1モルに付き石灰2モル, 酸化第二鐵1モルに付き石灰2モル, アルミナ1モルに付き石灰0.3~0.8モル並に全重量の0.1~3%のマグネシア又は二酸化マンガンを含むが如き割合に原料を調合し之を粉碎混和と熔融點以下の温度にて焼成することを特徴とし冷後微粉砕して成る高アルミナ質水硬性耐火セメントの製造法。

鐵及び鋼の表面硬化性 (13年特許公告第2325號, 公告13-6-17, 獨逸國, ドイツチエ, ホートン, フアブリック, ゲゼルシャフト, ミット, ベシユレンクテル, ハフツング) 著しき長時日に互りて強力炭滲作用を持続する表面硬化即ち膚焼入れ用の熔融鹽浴を設け之に依りて有効且經濟的に鐵及鋼の膚焼入れを行はんとする目的を以て, 最良の分量として15%若くは其れ以上の炭酸バリウムにシアン化ナトリウム或は青化加里, 青化カルシウム, 加里又はサイアナミドの青酸鹽の如き其の他のサイアノジェン化合物及鹽化ナトリウム又は鹽化加里の如きアルカリ金屬の鹽化物を組合せて成れる熔融鹽浴に浸すことに依り鐵及鋼を表面硬化する方法。

周面に雌型を形成したる硬質ロールの鑄造法 (13年特許公告第2390號, 公告13-6-22, 東京市, 内山正一) 刻設困難なる硬質ロールの周面に鑄造の際雌型を形成し以て簡單且つ容易に周面に任意の雌型を有するロールを得んとする目的を以て, ロールの大ききの内徑を有する筒狀の主鑄型に數多の小孔を穿設して之に嵌

(立直型燒爐附圖)
第1圖



挿したる締着螺子に依り主鑄型の内壁にロールの周面に形成すべき雌型と同形の補助型を密着して取付け然る後熔融金屬を注入して冷却せしめ其の冷却後締着螺子を除き主鑄型内より抜取りてロールの面に嵌入附着せる補助型を剝離せしめ其跡に雌型を形成することを特徴とする周面に雌型を

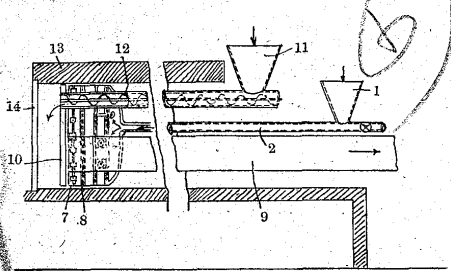
形成したる硬質ロールの鑄造法。

直立型燒鑄爐 (13年特許公告第2398號, 公告13-6-22, 關東州, 上島慶篤) 爐内を頗る均一に加熱し且連續作業上便宜ならしむる目的を以て, 爐側より2個以上の耐火耐熱性金屬にて作れる瓦斯通路を放射狀に且つ上方に向ひ突出せしめて傾斜位置に設け爐内中心部に於て合體し該合體中心部に耐火耐熱性金屬より成れる楔栓を施して固定し此附近に於て下向にガス噴出孔を穿ち瓦斯通路を爐壁を圍繞する燃燒室に連ね爐底中心部より高熱ガス又は燃燒ガスを噴出すべく構成せる直立型燃焼鑄爐。

鑛石處理法 (13年特許公告第2399號, 公告13-6-22, 亞米利加合衆國, ゼ, メリル, コムパニー) 在來の挽碎法を困難ならしむるが如き特質を有する鑛石並に沈積物にも有效的に適用せられ且多くの場合從來の青化法及浮選鑛法を有利に變更し併かも挽碎, 浸出及其他の挽碎操作の實質的節約を加味したる有效に且經濟的に鑛石より貴金屬類を回収する方法を得んとする目的を以て, 細碎せる固形鑛石とアルカリ性青化物溶液とより成るパルプ(Pulp)を生成し亞鉛の如き金屬沈澱劑の使用に依りてパルプ中の溶解せる貴金屬類を沈澱せしめ然る後貴金屬類を除去する爲め該パルプに浮選鑛操作を施すことより成れる鑛石よりの貴金屬回收法に於てパルプが浮游選鑛の操作中に酸素を吸収する時沈澱したる貴金屬類を再溶解し得るが如きパルプ中のヂシアン溶劑を制止し又は破壊することによりて沈澱したる貴金屬類が浮游選鑛の操作中再溶解するを防止するためにパルプ中に理論的に必要なる量以上の量の硫酸銅を導入してパルプを安定化せしむることを特徴とする鑛石類より貴金屬類を回収する方法。

鑛石裝入と同時に裏付を行ふ装置

第2圖



(13年特許公告第2400號, 公告13-6-22, 關東州, 上島慶篤) 材料を裝填すると同時に均一な爐壁の裏裝を簡單に行ひ其耐久性を保持し且つ作業能率を高め經濟的にスポンジ鐵を製出せしむる目的を以て, 還元生成物を押出すべきプッシャーに鐵鑛石及炭素混合物の搬送用スクリーコンベイヤとコロイド炭素末の押出器とを固定し鐵鑛及炭素を爐壁内に前端より後端に順次充填しつゝ同時にコロイド炭素を材料と爐壁との間に壓入し炭素壁を形成すべく構成せる装置。

金剛砂砥加工法 (13年特許公告第2412號, 公告13-6-22, 大阪市, 古川由松, 外3名) 該再加熱に依りて優秀なる砥石を得んとする目的を以て, 金剛砂と糊料とを混捏し強壓成形したるものを加熱し得たる金剛砂砥特に油砥として公知の品を該砥焼成の際の溫度よりも高溫度に加熱することを特徴とする金剛砂砥加工方法。

磁性合金 (13年特許公告第2371號, 公告13-6-20, 横濱市, 株式會社日本電解製鐵所) 高導磁率を有し脆弱且つ安價にしてインダクタンスを略々直線的に變じ得べく安定なる裝荷線輪用ダストニューアの製作に適する磁性合金を得る目的を以て, 錫0.5~15% マンガン0.3~5%と炭素0.05%以下の純鐵殘餘量とを含有する事の特徴とする磁性合金。

鑄型製造機の型受盤反轉裝置 (13年特許公告第2429號, 公告13-6-24, 大阪市, 植田良一) 鑄型製造に關し型受盤の反轉及其復歸作業を確實容易に行ひ且つ所要動力の節約を計らんとする目的を以て, 水平に支持せられ且反轉中心が兩側縁の中央に於て型受面の方に偏在する型受盤を備え前記反轉中心の直下に求むる支持棒上の一點と型受盤の一翼端部とをシリンダ及其のピストン棒にて連結し受型盤が水平状態にあるとき其の重心は反轉中心の下方に位し又型受盤に型枠を固定し之に型砂を充填したる時の重心は反轉中心の上に變移することに依り之を呼應してシリンダの兩端に交互に壓縮空氣を送入すればピストンの往復四衝程にて型受盤の一反轉及其復

歸動作を完了し得る事の特徴とする鑄型製造機の型受盤反轉裝置。

鑄型製造機の型砂壓搾裝置 (13年特許公告第2430號, 公告13-6-24, 大阪市, 植田良一) 鑄型に偏高部ありてために型砂層に深淺の差を著しく生ずる場合抵抗少き深層部に向て押蓋を進出傾斜せしめ以て捲砂の壓搾を全面的に平均し優良なる鑄型を得んとする目的を以て, 型枠内に充填せる型砂の壓搾用ピストンの先端に卓板を自由に傾斜し得る様に取付けたる鑄型製造機の型砂壓搾裝置。

該炭爐用の自塞戸 (13年特許公告第2442號, 公告13-6-24 獨逸國, ドクター, シー, オットー, アンド, カムパニー, ゲベルシャフト, ミット, ベシコレクテル, ハフツング) 爐室を氣密に閉塞し得べく而も破損修理の際に取扱に便なる此の種自塞戸を提供せんとする目的を以て, 一層を構成する多數の壁石が其等の壓接面に於て凹所を有し該凹所の壁が垂直保持桿を圍繞すべくならずを特徴とする該炭爐用の自塞戸。

鑄型土込用衝擊裝置 (13年特許公告第2461號, 公告13-6-27, 名古屋市, 株式會社久保田製作所) 鑄型土込用衝擊裝置に於て加壓空氣を間歇的に供給し其の間シリンダ内にて加壓空氣の膨脹作用を間歇的になせしめ型枠板及搖動臺の昇降運動に生ずる慣性を利用して自動的に加壓空氣の使用量を調節し加壓空氣を可及的に少量使用して鑄型の大小に應じ適當なる衝擊を充分施す目的を以て型枠板を駕載して鑄型を作成すべき搖動臺の下部に形成せるプランチャーの下部に設けたる下向袋室の上部に開口する様通孔を穿設しプランチャーを緩嵌せるシリンダに加壓空氣導入口を連通せる竪導孔及之に連通せる枝孔を穿設し通孔と枝孔とを導入加壓空氣の作用により間歇的に連通すべく成しシリンダの下部に穿設せる若干個の通孔をシリンダの下部外側に形成せる環狀室に連通せしめ環狀室に連通せる筒狀孔に排氣孔を連通せしめて成る鑄型土込用衝擊裝置。

煉瓦自動成形機 (13年特許公告第2467號, 公告13-6-27, 大阪市, 牧位眞治) 手巧法又は片込式機械による場合に比し原料の凝固狀態を遙かに均齊ならしむると共に作業能率を著しく向上させしめ得る此の種機械を得んとする目的を以て, 任意の無底式の煉瓦型を適宜の機械的方法を介して連續又は周期的に停止し得べからしめたる輸送軌道上に口邊を垂直狀に載置し之が原料供給器の下に進めば左右兩側より等量の原料を一個又は數個の杵子により該型内に搗込し所定の壓度に搗鑢して前方に移動し型外に過積せる原料を廻轉刃物により削除すると共に該刃物の平面部に設けたる成面器により表面仕上げをなし得べからしめたる煉瓦自動成形機。

選別裝置附球體削落及研磨機 (13年特許公告第2468號, 公告13-6-27, 東京市, 中島治策) 球體を自動により迅速且均等に連續的削落及研磨なし得ると同時に選別を行ひ作業能率を増進せしめんとする目的を以て, 機枠上に横架せる廻轉軸端に断面半圓形をなし内面に大小多數の圓形溝を並設せる廻轉板を定着し該廻轉板に合致すべく内面に之と同形の圓形溝を有し其の一側部に出入口を設けたる固定板を摺動自在に裝着し兩圓形溝の接觸により削落研磨したる球體を機枠の下部に於て傾斜狀に裝置したる格子形廻轉網を通過せしめ間隙部の擴張により球體を一定の外徑に選別し不合球は昇降機により再び上部廻轉板に輸送すべく爲せる選別裝置附球體削落及研磨機。

酸素發生器に於ける自動排水裝置 (13年特許公告第2472

號、公告 13-6-27、大阪市、清水伸太郎) 廢液を自動的に排出せしめ且發生せる酸素が排水孔より漏出するが如きこと無からしめんとする目的を以て、滴瓶内に收容せる過酸化水素水と觸媒劑を充滿せるタンク内に滴下せしめ酸素を發生せしむべくしたる酸素發生器に於て外部よりタンク内に金屬性の管を挿入し其外にある端に排水を誘導すべく下方に開口せしめ得べき護謄管を附屬せしめ其タンク内にある端を閉塞し此の端に近く管壁に一つの孔を貫通せしめ其金屬管の外側に接して容易に上下滑動し得べき長さの硝子管を設け其硝子管の外部に木又はキルク等の如く輕き物體にて作りたる栓狀物を挿入し更に其栓狀物の外周に近く多數の小孔を貫通せる隔壁を圍繞せしめたることを特徴とする自動排水装置。

金屬切削用劑製造法 (13 年特許公告第 2480 號、公告 13-6-27、神奈川縣、吉村又一郎) 任意量の水にて均質に稀釋し得べくせるベントナイトを水中に分散せしめ之に礦物性油若くは動植物性油脂と脂肪屬高級アルコール又は石鹼とを混和することを特徴とする金屬切削用劑製造法。

石灰燒成爐 (13 年特許公告第 2507 號、公告 13-6-29、東京市、堀 洋二) 石灰の原石を可及的短時間に燃焼せしむると共に燒成室内の石灰の燃焼を均等ならしめ燃料の節約をなすに適する石灰燒成爐を得んとする目的を以て、椀狀を形成するロストルの下端火口より可燃性ガス又は火焰を輸送すべくしロストルの上部燒成室の中央部に底部に於て膨大にして外周に數條の突隆帶を有する柱狀の塔を樹立し燒成室を形成する側壁の内側に數條の突隆帶を縦列せしめ上端に中央部より上方のみ曲折閉開する調節板を裝備し側壁の底部に數個の通氣孔を兼ねたる觀測孔を設け側壁の下端外側に冷却室を設置せしめたる石灰燒成爐。

鑽孔機削孔機旋刃機及類似機 (13 年特許公告第 2529 號、公告 13-7-1、瑞西國、ソシエテ、ジュネヴワズ、ダNSTロリーマン、ド、フィジク) 水平案内路に掛る移動部分の重量を減殺して移動部分の運動を容易ならしめ該路の消耗を防止する目的を以て、平衡用重錘を一個の槓桿に依りて支持し此槓桿を水平に移動し得べき滑動子或は往復臺に榫着すると共に此滑動子を支持する梁に沿ふて設けたる路上に轉動し得べくせる又は以上のロールと接せしめ以て此槓桿の榫着部に作用する平衡用重錘の反動力を利用して水の案内路より水平に移動する滑動子の重量の少く共一部を釋放し得しむるを特徴とし滑動子或は往復臺を有し之を水平案内路に沿ふて移動せしめ且つ平衡用重錘の平衡を受くる縦に移動し得べき部材を該滑動子或は往復臺に支持せしめて成る鑽孔機削孔機旋刃機及類似機。

アルミナの製造方法 (13 年特許公告第 2539 號、公告 13-7-1、東京市、正木康作外一名) 天然に産出するアルミナ物質を最も簡單なる工程に於て處理しアルミナを有利に製造せんとする目的

を以て、天然に産出する合アルミナ物質に鹽化アルカリ及鹽化アルカリ土の一種若くは二種以上を添加し又は添加することなくして處理工程に於て該化合物を生成する如き物質を添加して高温鹽素處理を施すことを特徴とするアルミナの製造方法。

鋳筒鑄造用砂型製造裝置 (13 年特許公告第 2560 號、公告 13-7-4、川口市、大泉寛三) 鋳型腔室間に詰められたる砂に正確なる位置に於て多數のガス抜孔を一齊に穿孔し得しめ鋳型腔室の隅々に至る迄均齊に湯を廻はし得る鑄造用砂型を機械的手段により製造し得しめんとする目的を以て、鋳半型並筒半型が砂型敷板の窓より出沒し得る如く半型取着板を設置し砂型敷板に連結し又は夫より離れ得る如く吊垂せるガス孔穿孔機構には鋳半型間に進入し得る如く多數のガス孔穿孔針を取着けたる穿孔針取着板を設け前記穿孔針取着板は鋳半型に對し接近又は離隔する如く摺動し得しめたる鋳筒鑄造用砂型製造裝置。

冷却装置を備ふる遠心力鑄造機に於ける鑄型摺持裝置 (13 年特許公告第 2632 號、公告 13-7-8、大阪市、阿部良通) 鑄型を臺盤の中心部に迅速に且完全に摺持すべくし合金の鑄造に當り鑄造せらるべき熔融合金の有する特定温度より常溫に急激に冷却するを得せしめ以て組織に偏折並に氣孔巢の生ずるを防止して緻密にして而も均等なる組織を有する軸承其他の合金を得べき鑄型摺持裝置を得んとする目的を以て、任意に上下し且回轉すべくしたる臺盤の周縁に三箇若くは三箇以上の遠心桿を榫着し臺盤の下面に突出せる前記遠心桿の樞軸に曲桿固定し更に之等曲桿をリンクにより相互に關聯せしむると共に曲桿の内何れか其一を單機により牽引して之等曲桿をして靜止状態に於て常に一定位置に在位せしむべくし而して前記臺盤を圍繞して噴水胴を設置したるを特徴とする冷却装置を備ふる遠心力鑄造機に於ける鑄型摺持裝置。

特許拔萃

特許 番號	名 稱	特 許 權 者	鐵 と 鋼
125108	鉛粉の製造方法	杉原公平	なし
125117	ニッケル鑛より硫酸ニッケルの製造方法	三菱鑛業株式会社	號 24 年 3 號
125142	磁性合金の改良	金屬材料研究所長	第 24 年 4 號
125156	銅 合 金	ウエスティングハウス、エレクトリック、エンド、マヌファクチャリング、コムパニー	第 24 年 3 號
125157	鉛及鐵を含有する硫化亜鉛鑛の處理法	正木康作	第 24 年 1 號
125180	硫化バリウムによる鑛水の處理方法	高田 實	第 24 年 2 號